

## 地域公共交通の現状について

### 現状

御殿場市の地域公共交通等は、鉄道（ＪＲ御殿場線）や路線バス、高速バス、タクシーのほか、民間企業送迎バスによって構成されている。

### 公共交通

#### ①鉄道

- ・ＪＲ東海（御殿場駅、南御殿場駅、富士岡駅）
- ・小田急電鉄（特急ふじさん号）

神奈川県国府津駅と静岡県沼津駅間を結ぶＪＲ御殿場線は、通勤通学や観光客を中心に市内の駅（御殿場駅・南御殿場駅・富士岡駅）を１日平均約１万人以上の方が利用されている。また、御殿場～新宿間を結ぶ特急ふじさん号が運行している。

主な施策：御殿場線利活用推進協議会（御殿場線沿線１０市町加盟）において、鉄道事業者への要望活動を行い、利便性向上に向けた活動を実施。

#### ②路線バス（高速バス） 主なバスのみ

- ・富士急モビリティ 御殿場駅を中心に放射線状に２２路線運行
- ・小田急ハイウェイバス 路線バスが主に御殿場駅や東名御殿場から箱根方面に２路線運行、高速バスが御殿場駅やアウトレットから新宿・羽田方面に２路線運行
- ・ＪＲバス関東 主にアウトレットから新宿方面に２路線運行

御殿場駅を起点として、概ね市内の拠点間を効率よく一度に多くの方を運ぶことができ、年間約７５万人の方が利用されている。また、東京方面にも御殿場駅から高速バスが運行しており、関東圏へのアクセスにも利用者が多い。

主な施策：利用促進運動の実施（イベントや関係各所へのお願いなど）、収支の悪化している路線への補助、移動手段のない高齢者への利用助成券の配布、燃料価格高騰分支援事業費補助金

### ③タクシー

御殿場タクシー・光タクシー・こだまタクシー・富士急静岡タクシー

路線バスでは補完できない場所への移動だけではなく、急病の方への対応など様々な用途で利用されている。

主な施策：移動手段のない高齢者への利用助成券の配布、妊産婦へのタクシー利用助成券の配布、UDタクシーの購入費補助、燃料価格高騰分支援事業費補助金

#### | | |-------------| | その他（自家用車など） | |-------------|

現在、移動手段として多くの方が自家用車を利用。ただし、高齢化社会の進展に伴い、自家用車での移動が困難となる方が増加しており、路線バスなど公共交通の維持は必要不可欠である。また、介護タクシー（市内で把握している事業者）が5社運行している他、一部路線バスが運行していない地域では地域のボランティアが移動手段のない高齢者の外出支援を行う福祉サービスも実施されている。また、現在実験的にタクシー事業者が運行主体となる日本版ライドシェアが実施されている。

### 課題

- 1 利用者減による路線バスの減便・廃止
- 2 公共交通空白地域への対応
- 3 利用環境の向上

市では、最適な交通施策の策定及びその推進を図ることを目的として、行政・交通事業者・利用者代表等からなる「御殿場市地域公共交通協議会」を設置し、路線バスをはじめとする地域の公共交通に関する諸課題の解消に向けて協議、検討を行っている。